

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み

観客の皆様や関係者、我々の活動に関わる全ての方の安全のため、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを以下の通り行っております。

●稽古場における取り組み

- ・スタッフやキャストは少しでも体調が優れない者は自宅待機としています。（37.5° C以上の発熱や、咳などの症状がある場合など）
- ・稽古場への通勤時間がラッシュアワーと重ならないよう、稽古の開始・終了時間を調整しています。
- ・キャスト・スタッフ共に、検温を行っています。
- ・キャスト・スタッフ共に、可能な限りマスクを装着し稽古を行なっています。
- ・稽古場に入出入りする際は、手指の消毒を行っています。
- ・稽古場では、常に換気を行なっています。
- ・移動中を含め、飲食時以外はマスクを着用しています。
- ・食事をする際は密になる空間を避け、飛沫による感染を防ぐよう心がけます。

●会場での準備・本番期間における取り組み

- ・県外移動をする直前に、全員がPCR検査を受け、陰性であることを確認した上で移動します。
- ・PCR検査は県外移動をする直前、移動後の本番直前、全公演終了後の計3回行います。
- ・会場内では基本マスクを着用しています。キャストも舞台でのリハーサルや本番以外はマスクを着用しています。
- ・終了後、使用した小道具や衣装の消毒を行います。
- ・会場で定められている定員数を遵守し、常に換気を行っています。

●客席・お客様に向けた取り組み

- ・お客様とスタッフ間での感染予防のため、スタッフはマスクを常に着用します。
- ・受付や物販コーナーでは飛沫感染防止用の仕切り、来場者用のアルコール消毒液を設置します。
- ・客席の最前列は、舞台前から2m以上の距離を取り客席を配置しています。
- ・客席内及び舞台空間では、可能な限りドアや窓の開放を行い換気を強化いたします。
- ・終演後の出演者との面会は基本実施していません。
- ・入退場時に密にならないよう、ソーシャルディスタンスを保てるような取り組みを行います。

<緊急対応>

PCR検査における陽性が判明した場合、医師・病院及び管轄保健所の指示に従います。

稽古・本番中における陽性者と接触があった関係者へはすみやかに連絡し、濃厚接触の疑いがある者は医療機関・管轄保健所の指示に従い適切な対処を行います。